【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成25年5月16日(2013.5.16)

【公表番号】特表2011-514358(P2011-514358A)
【公表日】平成23年5月6日(2011.5.6)
【年通号数】公開・登録公報2011-018
【出願番号】特願2010-550703(P2010-550703)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/4045　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/422　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/28　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/4045
Ａ６１Ｋ　31/422
Ａ６１Ｋ　47/28
Ａ６１Ｋ　47/02
Ａ６１Ｐ　25/06

【手続補正書】
【提出日】平成24年3月13日(2012.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
特定の胆汁酸塩、例えばタウロコール酸塩は、粘膜組織を通じた特定の化合物の吸収を促進することが知られている。しかし、特定の化合物と胆汁酸塩の調合に伴う１つの困難は、それらが特定のアルカロイド化合物と塩複合体を形成し、結晶化または沈殿する傾向にあることであった。これは、胆汁酸塩を使用する剤形中での可溶化活性成分の量の減少をもたらす。特定の薬剤のイオン形態は、結晶化する傾向を有し、それは次いで、薬剤の、粘膜組織を越え、循環系に輸送する能力を阻害する。それらの相互の化学親和性および有意な塩複合体形成が原因で、それらの間での塩複合体を回避するスマトリプタンおよび胆汁酸塩を含有する調合物は、達成が困難であった。
特定の化合物および胆汁酸塩、例えばタウロコール酸塩の場合のもうひとつの課題は、それらの局所粘膜炎症を引き起こす傾向である。したがって、たとえばタウロコール酸塩の吸収特性を利用すると同時に、投与時の快適さおよび炎症の低減を得ることは困難でありうる。
活性成分の、それに伴う治療効果をもたらすのに有効な量での送達を促進する組成物を調合することは、薬学分野における重要な関心領域である。経粘膜薬剤送達技術に対する改善および強化についてはまた、常に検討され続けている。
この出願の発明に関連する先行技術文献情報としては、以下のものがある（国際出願日以降国際段階で引用された文献及び他国に国内移行した際に引用された文献を含む）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【特許文献１】　米国特許出願公開第２００６／０１９３９０８号明細書
【特許文献２】　米国特許出願公開第２００６／０００２９８９号明細書
【特許文献３】　米国特許出願公開第２００５／００８４５３０号明細書
【特許文献４】　米国特許出願公開第２００２／０１４７２３２号明細書
【特許文献５】　国際公開第ＷＯ２０００／０５９４２３号
【特許文献６】　国際公開第ＷＯ２００７／０９６９０６号
【非特許文献】
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【特許文献１】　Ｓ．Ｓｅｎｅｌ　ｅｔ　ａｌ．，"Ｅｎｈａｎｃｅｄ　ｏｆ　Ｉｎ　Ｖｉｔｒｏ　Ｐｅｒｍｅａｂｉｌｉｔｙ　ｏｆ　Ｐｏｒｃｉｎｅ　Ｂｕｃｃａｌ　Ｍｕｃｏｓａ　ｂｙ　Ｂｉｌｅ　Ｓａｌｔｓ：Ｋｉｎｅｔｉｃ　ａｎｄ　Ｈｉｓｔｏｌｏｇｉｃａｌ　Ｓｔｕｄｉｅｓ", Ｊｏｕｒｎａｌ　ｏｆ　Ｃｏｎｔｒｏｌｌｅｄ　Ｒｅｌｅａｓｅ，　Ｅｌｓｅｖｉｅｒ，　Ａｍｓｔｅｒｄａｍ，　ＮＬ　ＬＮＫＤ－ＤＯＩ：１０．１０１６／０１６８－３６５９（９４）９０２２４－０，Ｖｏｌ．３２，Ｎｏ．１，Ｎｏｖ．１，１９９４，ｐｐ．４５－６６，ＸＰ０２５５６７２７６，ＩＳＳＮ：０１６８－３６５９［Ｒｅｔｒｉｅｖｅｄ　ｏｎ　１１－０１－１９９４］．
【発明の概要】
【課題を解決するための手段】